言葉の力　「教育者の最高の技術とは、若者に創造的表現と知識の喜びを
発見させることです」（アルベルト・アインシュタイン）

松陽便り　第１３５号	美術科　東京藝大と高大連携

８月２８日（月），本校美術科が東京藝術大学と高大連携の取組を実施しました。

美術科では各大学・専門学校・予備校と連携事業を計画し，実施しています。今年度，初めて東京藝術大学と連携することができました。高大連携事業(藝大研修会)を通して，進学への意識を高めるとともに，東京藝術大学において高度な設備や技術に触れることで，発想や制作の一助とすることを目的としています。

東京藝術大学取手校地は本校の隣に位置しており，美術学部２年生以上先端芸術表現学科，大学院の一部の学生が学んでいます。今回は，本校生徒２１名を対象に，金属・ガラス等の素材研究を行いました。東京藝術大学の藤原信幸教授，丸山智己准教授，教育研究助手の長尾幸治先生，地村洋平先生，非常勤講師の田中航先生，多田えり佳先生，三枝一将先生，修士の濱田敬史さんにご指導いただきました。

ここからは，鍛造制作の様子です。

火の中で金属をあたためます。

金床で棒を叩いています。

当て金を使って成型しています。

バーナーで金属を焼きしめます。

仕上げにヤスリで磨きます。

金属　：　鍛造による作品制作

ここからは，ガラス作品制作の様子です。

作業前の説明

火傷をしないように，説明を聞きます。

空気を入れて形を作ります。

ガラスの口を慎重に広げます。

底の部分を作っています。

ガラスを使った作品制作

終わりの挨拶

東京藝術大学の皆さま，ご指導ありがとうございました。